

委員会レポート | 文教厚生委員会

所管 教育・住民・健康福祉に属する事項

2月6日(木)

子育て支援対策 児童館(福岡県築上町)を視察



現在は

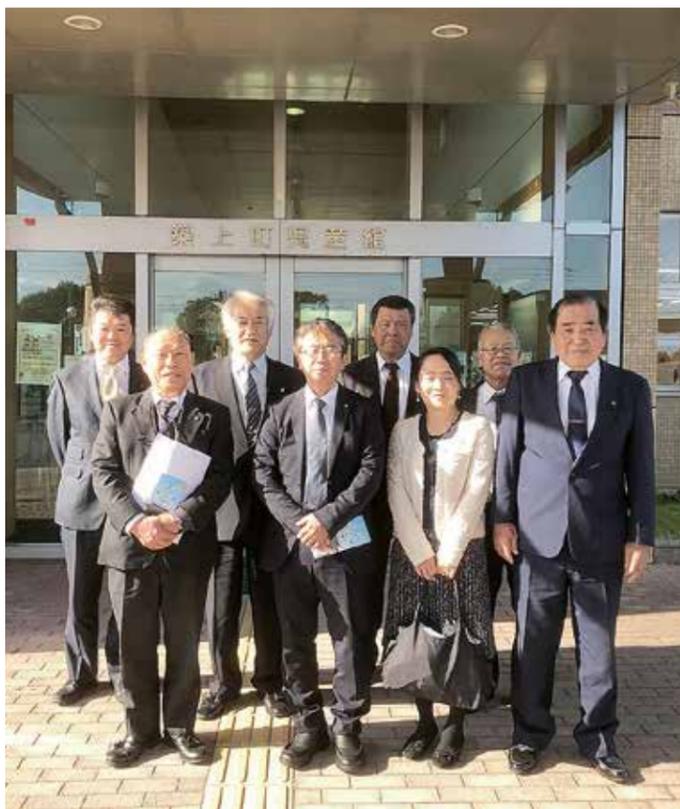
指定管理にて社会福祉協議会と業務委託契約を結び、0歳児から18歳未満の児童とその保護者(乳幼児の利用は保護者同伴)

完成までの道のり
築上町では、平成10年3月に旧稚田町児童館育成計画が策定され、児童の健全育成の取り組みを推進しています。子育て支援の拠点となる施設が必要との要望が出され、児童館建設の検討が始まりました。建設委員会では、保護者が安心して参加でき、子育て不安など適切に指導ができる体制づくりや事業内容について協議を重ね、児童にやさしく安全に考慮した児童館が平成13年度に完成しました。



完成までの道のり

須恵町では、子どもの居場所づくりの重要性が浮き彫りになっています。
その解決策を求め、築上町児童館において視察研修を行いました。



を対象に、職員3名支援員13名で対応されています。開館は、毎週日曜日を除く午前10時から午後6時までとなっています。
事業内容としては、「学童保育事業」・「児童館事業」・「子育て支援センター」の3部門から構成されています。心身ともにたくましく、心豊かに自分の意志と力で育つことを目標とし、養育者が安心して子どもを産み育て



視察を終えて

本町においても、子どもの居場所づくりの環境を整備するため、先進地に学び須恵町独自の取り組みが実現できることを期待したいと考えます。

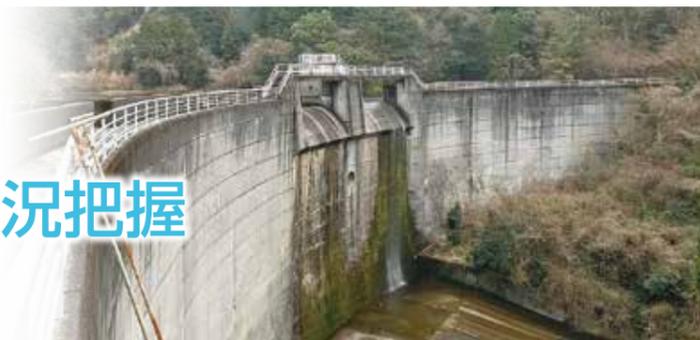
る環境づくりの拠点としての役割が果たせられるように取り組んでいます。

委員会レポート | 総務建設産業委員会

所管 総務・まちづくり・税務・都市整備・地域振興・上下水道に属する事項・その他の委員会に属しない事項

2月10日(月)

町の水道施設の状況把握 上水道施設を視察



安全・安心な「水」の供給は

須恵町の大切なライフラインである水道水の水源について視察しました。今回視察した施設は、須恵ダム・中柱田貯水池・新旧男鳥池・佐谷浄水場・第二浄水場等です。須恵町は、これからはますます水需要の増加が予想されますが、安全な水の供給のためこれらの施設を維持しています。



水質計器の説明を聞く



主な施設の役割

須恵ダムは、昭和40年3月に完成した我が町の「水」を確保するうえで重要な施設です。有効貯水量は8万m³で、上水道用水を目的としたアーチ式ダムです。また、中柱田貯水池、新旧の男鳥池も重要な水源です。これらの原水は佐谷浄水場、第二浄水場に導水され、ろ過を施し薬剤(水道用次亜塩素酸ナトリウム)で消毒された「水道水」が各家庭へ供給されます。薬剤の注入は、水温が濃度に影響するので、季節の温度差を考慮し調整されています。



中央監視装置を見学



視察を終えて

「世の中動かす中の人」の存在を強く感じました。蛇口をひねると清潔で安全な飲み水が出てくることは、当たり前のように思われがちですが、その当たり前は、水の品質と供給量を、毎日確認、調整する繊細な仕事の上に成り立っています。ただ水源があれば、飲料水を供給できるわけではなく、日々の仕事を通じてはじめて水が飲めると、認識を深めました。



ろ過の過程を聞く